

みんなで話そうー看護の出前授業 実施報告

🍃 実施校：愛媛県立松山北高等学校

🍃 開催日時：令和8年7月15日（水）13:00～14:15



生徒の皆さまのご感想

- ・実際の医療現場の生の話が聞けて非常に参考になった。
- ・災害医療に興味があり、先生の体験などが聞けて勉強になりました。
- ・小さい頃から看護師に興味があり、そのためにどうすれば良いかがわかり、自分の目標が具体的になりました。
- ・看護師は、医療の「コーディネート」をする、という言葉が印象に残り、看護師のやりがいを改めて感じました。



学校担当者様のご感想



大学の出張講義は毎年実施しているが、今回のように実際の現場の方に来ていただいて話をさせていただく機会は新鮮で、生徒にとっても非常に有意義な時間でした。講演も非常にわかりやすく、幅広い内容であった。実際の医療器具に触れたり、先生の体験談も聞けるなど、医療・看護系を目指す生徒にとって大変貴重な内容でした。

医療・看護系を志望している生徒は毎年20人程度はおり、ぜひ、次年度以降も実施したいと考えているので、その際はよろしくお願いいたします。



講師のご感想（松山赤十字病院 吉田 昌弘 先生）

自身の生々しい挫折や葛藤、そして命の重みを知った臨床のリアルを真っ直ぐに届ける授業としました。多感な高校生に「看護の夢」を印象付ける有意義な時間となりました。

看護協会が、すでに実施されている事業として、単発の出前授業で終わらず次の世代の可能性を信じて育てるキャリア支援が大切だと実感致しました。具体的には、授業で生徒の「看護師になりたい」という夢や、「まだ不安だな」と悩む気持ちを具現化するため、看護協会がハブとなり、学校教育と臨床現場を点ではなく、線で結ぶ仕組みがインターンシップが有効と理解出来ました。現場の看護師が直接夢を育てる対話形式のワークショップも良いなと思いました。

本授業を通じて、かつて夢を応援された高校生が看護の道を志し、やがて未来の仲間として現場へ還ってくる。この世代間のバトンタッチを仕組み化することで、潜在的な看護人材の裾野を広げ、次代の看護を支える担い手の確保に貢献できると考えます。この度は、大変貴重な役割を拝命し誠にありがとうございました。

